

# 1. 安全教育の取組

〈はじめに〉 安全確保のために必要な知識・行動を理解し、生命尊重や安全な生活を送る基礎を培い、安全で安心な社会づくりに貢献できるようにすることを目的に以下の取組を進めていきます。

## 〈取組〉



### (1) 登下校指導 <4/9-11>

年度始め、本校職員で校舎西側・北側・南東側の道路の交差点や横断箇所にて交通指導を行いました。（町内会の方には毎日見守っていただいています）



### (2) 自転車点検 <4/16>

全国的に事故の多い自転車の使用についての指導と、点検を実施しました。



### (3) 避難訓練 <5月・9月・11月・2月>

様々な状況下で、避難経路や「危険を予測し、回避する」行動を確認していきます。



### (4) SNS教室 <7/18>

外部の専門職員を講師に、情報リテラシーを身につけ、情報を賢く扱うにはどうしたらいいのかを考える学習を実施します。



### (5) 防災学習 <10月~12月>

学年毎のテーマで、  
① 1年「地域探索」  
② 2年「避難所設営」  
③ 3年「避難所運営」  
を実施し、地域の中での役割について考えを深めます。



### (6) いのちの学習 <9月>

外部の専門職員を講師に「多様な性」についての学習、助産師を講師に「生と性」についての学習を行います。思春期の「心と体」について学習し、命の尊さについて考えを深めます。



### (7) 薬物乱用防止教室 <3月>

講師を招いて、3年生を対象に薬物の恐ろしさや、忍び寄る誘惑から自身を守るための学習をします。

## 〈本校の特色として〉

### (5) 防災学習 「災害時 "地域の要" になることを願って…」

「危険から身を守る」学習から、「地域のためにできること」を深く考える機会にしています。



#### ① 1年「地域探索」

災害時に必要なものや施設などを探し出すウォークラリー「防災フォトスカベンジャーハント」を実施します。昨年度は、災害時に危険になる物や場所、防災の機能があるもの、工夫することで被災時に活用できる物など、「多くのことに気づいた」という感想が寄せられました。



#### ② 2年「避難所設営」

体育館に避難所を設営します。班に分かれて協力・相談しながら、テントや段ボールベッド、仕切りなどを組み立て、使い勝手を確認します。手早く組み立てる方法や、使う人が利用しやすい工夫など、体験や対話を交えて、よりよい方法を考えていきます。



#### ③ 3年「避難所運営」

「HUG」を使って、避難所運営のシミュレーションを実施します。刻々と変化する状況下で、様々な避難者（子ども、老人、妊婦、けがや持病のある人、ペット、発熱者など）ができるだけ快適に過ごせる方法について、話し合いながら考えていきます。



### (6) いのちの学習 「自分を守り、相手を守り、命を守る」

「多様な性、思春期の心と体」への理解を通して、「いのちの尊さ、責任」について深く考える機会にしています。



#### ① 「多様な性」の学習

性の多様性、当事者の悩みについて学習します。昨年度は、「多様性を認め合うこと」、「人権の大切さ」、「悩んでいる人に自分ができることは何か」等についての感想が寄せられました。



#### ② 「生と性」の学習

「いのちの誕生の奇蹟」、「思春期の心と体」、「望まない妊娠や性感染症」、「避妊」、「デートDVなどの性暴力」、「SNSの正しい選択」について学習します。昨年度は、「性暴力やいやな思いをなくすためにどうしたらいいか」や「SOSの出し方」、「悩んでいる人へのサポート」等についての感想が寄せられました。



## 〈目指す姿〉 力を合わせ、創意工夫できる生徒（生徒像3）

- 昨年度は学習を通して、「今だけ、自分だけ」ではなく、「これから、みんなも」幸せに生活するために、「自分にできることは何だろう」と考えている感想が多く寄せられました。
- また、困ったときには相談する勇気が大切で、相談できる窓口が沢山あることを知り安心したという生徒も多かったです。
- ※今年度も、さらに工夫しながら取組を継続していきます。

## ＜教育活動の具体＞

「緑風」(特別号①)では、学校教育目標の達成に向けて、知・徳・体を一体で育む教育活動の「概要」を紹介しましたが、本紙では「具体」を紹介します。

①安全指導の取組 (p1)

②学力向上の取組 (p2～3)

③体力向上の取組 (p4)

④豊かな心を育む取組 (p5～6)

⑤小中連携(学びをつなぐ) (p7～8)

## 2. 学力向上を目指して 学ぶ人

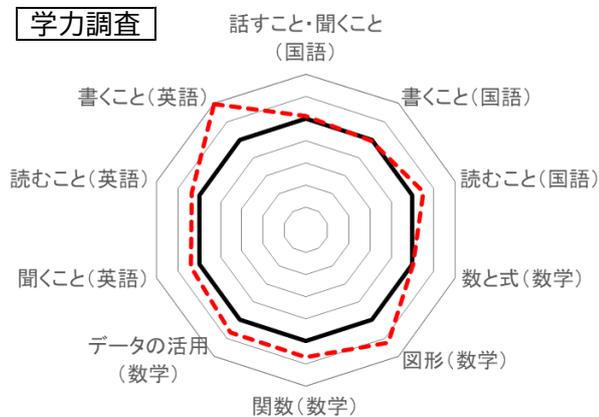
### ＜全国学力・学習状況調査＞



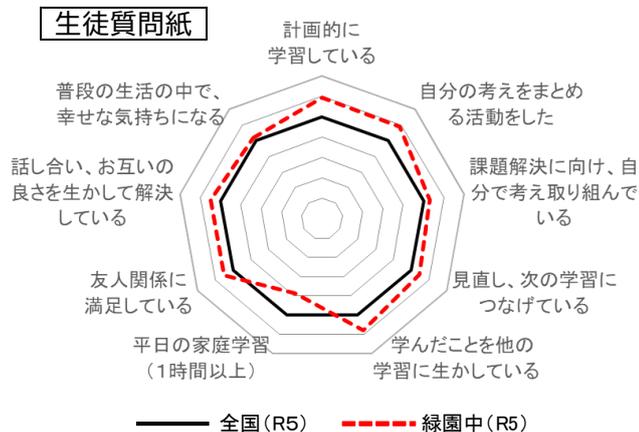
令和5年度(昨年度)4月に実施した結果は以下の通りです。今年度の結果は後日お伝えします。



#### 学力調査



#### 生徒質問紙



#### 国語

- 平均正答率が全道・全国を上回っている。
- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることにおいて、正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 自分の考えを伝えるために、根拠を明確にする情報を引用して書こうとする意識が、全道・全国を大きく上回っている。
- △ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題が見られた。

#### 数学

- 平均正答率が全道・全国を上回っている。
- 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することにおいて、正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 設問問題を全て最後まで解答しようとする意識が高い。
- △ データを比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。

#### 英語

- 平均正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 情報を正確に聞き取ることに正答率が高い。
- 英語の勉強は大切、授業がわかる、将来役に立つと感じている生徒の割合が全道・全国を大きく上回っている。
- △ 授業において、自分の考えや気持ちを英語で伝え合うことや文章で書くことに課題が見られた。

#### 生徒質問紙

- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組もうとしていた生徒の割合が、全道・全国を上回っている。
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かそうとしている生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげようとしている生徒の割合が、全国を大きく上回っている。

### 令和5年度の結果を受けて、主に以下の取組を実施してきました

- 根拠をもとに自分の考えをまとめ、伝えようとする意欲が高まっていました。(無回答率が低い)  
朝学習や各授業において、考えをまとめ、伝える活動を意図的に取り入れ、継続してきた成果と考え、引き続き実施しています。
- △ 相手に伝わるように表現することにおいて課題が見られました。以下の取組を継続し、思考力・判断力・表現力を高める「対話活動」を充実させます。また、家庭での学習習慣の定着に向けても進めていきます。(具体的な取組は次ページに掲載)
- ① 授業の中で、自分の考えの「理由」を話したり、書いたりするアウトプットの時間や、合意形成する機会を設けます。  
(知識をつなげる、自分の考えをまとめる、合意形成をつくる活動)
- ② 朝の時間(週に1回)を使って「対話活動」を行います。  
(お題について自分の考えをもち、その理由をはっきりさせ、対話や文章にまとめる学習)
- ③ 指導工夫、授業改善、学習習慣の定着により、「できた」「わかった」喜びを感じる主体的な学びを目指します。
- ④ チャレンジテストや学力テスト・定期テスト・標準学力検査等を活用しながら、短期間で検証・改善します。

## <取組> (1) 指導工夫で学びの充実へ

### ① 読書活動・対話活動



#### <緑園タイム>

読むことの習慣化、落ち着いた日常を定着していく「朝読書」に加え、自分の考えをまとめ、伝える力を向上させる「対話活動」を朝の会の前に行います。

### ② ICT活用



#### <タブレットの活用>

大型モニターや、1人1台端末の活用により、個々の習熟度や興味に応じた学習を充実させるなど、効果的な指導工夫を進めます。

### ③ 授業サポート・試験前学習会



#### <授業サポート>

地域ボランティアが、火・水・金の午前中に、主に数学の授業のサポートを行います。教員が全体指導を行い、ボランティアが個別にサポートします。

### ④ 長期休業学習会



#### <試験前学習会>

定期テスト前の2～3日間、放課後に実施します。教員や地域ボランティアに質問しながら、自分の課題に合わせた学習を行います。



#### <夏・冬休み学習会>

夏休み・冬休みにそれぞれ3日間ずつ、南商生・畜大生・地域ボランティアの協力のもと実施します。宿題や課題、eライブラリー等に取り組みます。

(お花教室)



#### <お花教室>

夏休み・冬休みに地域ボランティアを講師に招いて実施します。季節の花をアレンジし、表現力や情操を高める活動を行います。昨年は、エリアの生徒児童・保護者・教職員・地域住民が参加しました。



(実験教室)



#### <実験教室>

夏休み・冬休みに本校職員が地域ボランティアの協力のもと実施します。昨年はブタの眼球解剖実験や自身の見え方実験、ウシの生殖器解剖実験や性周期、遺伝について学習しました。また、十勝の歴史や畜産業、食文化についても学習を深め、エリアの生徒児童・保護者・教職員・地域住民が参加しました。



## (2) キャリア教育の充実へ

将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うための取組を行います。詳しくは、p6「**将来の自分の姿を考えるための取組**」で紹介しています。

## (3) よりよい授業を目指して

研究テーマ「**すべての生徒の well being を育む確かな学力の定着**」～個別最適な学びと協働的な学びを用いた**授業改善**～を目指し、計画的に校内研修（教員や関係者による授業参観や協議）を行っていきます。



① 生徒指導の視点の研修 <5/20>  
生徒指導の視点（①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の形成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土の醸成）をいかに、生徒理解に基づく学習者主体の授業づくりを研究するため、生徒指導提議をもとにした学習会を行いました。



### ② ICT活用研修 <7/19>

「授業におけるICTの効果的活用」について、外部の専門職員を講師に招き、先進校での取組や、様々なアプリの活用例を参考に、講話や演習を交えて研修を行います。



### ③ 授業研究

校内で計画的に全学年の授業研究を実施します。10月はエリア公開研（開西小会場）の実施、校内研修で指導主事を招き、全学年の研究授業と協議を行います。ICTの活用、生徒指導の視点、効果的な対話をとり入れながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を用いた授業づくりを実現するため、積極的に外部の助言を活用していきます。



<現状> R6.5月  
授業で「できた」  
「わかった」達成感  
国:91% 数:92%  
理:90% 社:93%  
英:90%

### ④ 授業・学習アンケート <学期毎>

生徒と教員から学期毎にアンケートをとり、定期的に取り組を振り返って、授業づくりの参考にしていきます。

## (4) 学習習慣の定着を目指して



### ① 家庭学習の推進

日常的に家庭学習に取り組み、積み上げていくために、宿題や課題以外に、eライブラリーや、自学ノートなどを活用しています。昨年は、先生からの励ましや助言を通し、多くの生徒が工夫しながら粘り強く取り組んでいました。



### ② 自らの取組への振り返り

テスト計画表の振り返りや教育相談により、将来を見据え、自分を見つめる機会としています。昨年は、多くの生徒が考えを整理し、自己決定して行動に責任や覚悟をもつようになりました。



### ③ 家庭との連携

地域ボランティア（畜大錬成会塾長）を講師に招き、「大人の学習会」を7月17日に実施します。進路情報や家庭での声かけなどについてお話しします。また、懇談会や通信等を通して家庭と一緒に環境づくりを進めていきたいと考えています。



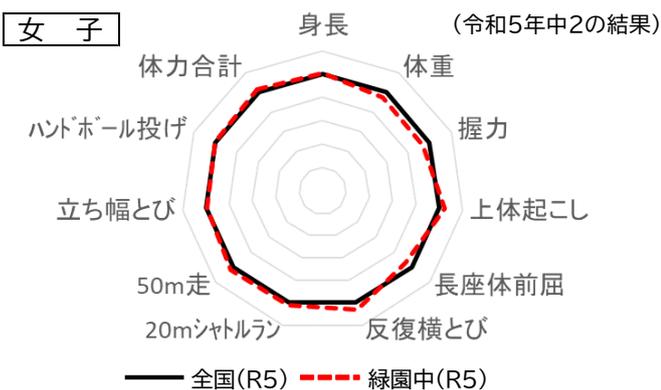
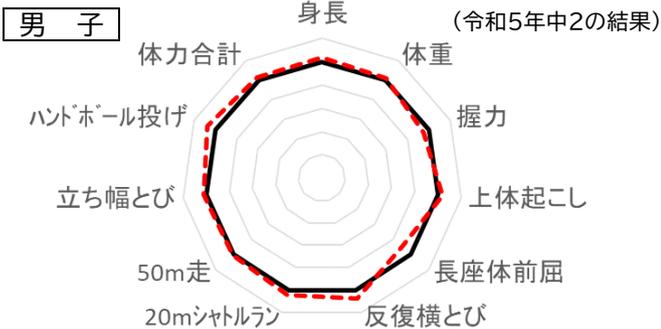
<現状> R6.5月  
平日の学習時間  
(1時間以上)  
全校：70%

### <目指す姿> 向上心旺盛で、学び続ける生徒（生徒像1）

- 昨年度は、授業づくりとアンケートの活用により、効果的な取組の改善につながり、生徒の達成感が高い状態でした。
  - また、キャリア教育の視点での教育活動や教育相談により、生徒は将来を見据え、主体的な取組へと変化していきました。
- ※今年度も、さらに工夫しながら取組を継続していきます。

### 3. 体力向上を目指して 鍛える人

#### <全国体力・運動能力・運動習慣等調査>



#### <体力・運動能力>

種目	体力要素	男子		女子	
		全国比	伸び	全国比	伸び
身長		○		-	
体重		-		△	
握力	筋力	△	○	△	○
上体起こし	筋パワー・筋持久力	○	○	○	△
長座体前屈	柔軟性	△	△	△	△
反復横とび	敏捷性	○	○	○	○
20mシャトルラン	全身持久力	○	○	○	○
50m走	疾走能力	-	○	○	○
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	○	○	-	○
ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	○	△	-	△
合計		○		○	

※ 全国比… R5全国中2の得点より、高い(○)、同程度(-)、低い(△)

※ 伸び… R4本校中1の得点より、高い(○)、同程度(-)、低い(△)

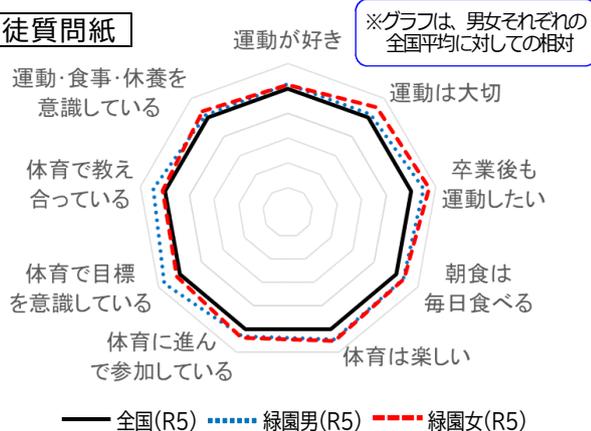
#### <R5の全国中2と比べて>

- 筋持久力・敏捷性・全身持久力が高い (男女共通)
- △ 筋力・柔軟性に課題が見られた (男女共通)

#### <R4の緑園中1の時と比べて>

- 筋力・敏捷性・全身持久力・疾走能力・跳躍能力が向上 (男女共通)
- △ 柔軟性・投球能力の向上に課題が見られた (男女共通)

#### 生徒質問紙



#### <取組>



#### (1) 体育授業の工夫

効率的な体の使い方の指導や、基礎的な筋力を向上させる運動を取り入れ、運動量を確保した授業展開を行っています。教え合いやICT活用等で、できる喜びを感じる授業を目指します。



#### (2) 「対抗戦」の実施

球技大会やアイスホッケー大会、体育祭等の体育的行事を実施しています。生徒は様々な種目の特性や楽しさを味わい、対抗戦を通して仲間意識を高めています。



#### (3) 日常的に運動に親しむ機会の設定

昼休みの体育館・グラウンド開放、放課後等のリンク開放、体育的活動の企画(生徒会交流会)を実施し、生徒が楽しく汗を流せる機会をつくります。(部活動等で、日々汗を流している生徒もたくさんいます)



#### (4) 感染対策と教育活動

感染症等の状況を注視し、その都度、市教委の指導・助言のもと教育活動を進めていきます。



#### (5) 望ましい生活習慣の定着

栄養教諭による食育指導を実施します。掲示板を活用した情報発信や個別の質疑応答、「朝食レシピ」(1年)や「給食献立」(2年)への応募、北海道ホテル総料理長を招いた「調理実習」(3年)を行い、「食の大切さ」について学習していきます。また、担任による生徒や保護者との教育相談、顧問による部活動指導等を通じて、栄養・休養・運動の大切さを保護者に協力をいただきながら伝えていきます。



#### <生徒質問紙>

- 体育の授業が「楽しい」、「進んで参加している」と答えた生徒の割合は、全国を大きく上回る。
- 運動が「好き」、「大切」と答えた生徒の割合は全国を上回る。また、「卒業後も運動したい」、「朝食を毎日食べている」生徒の割合は全国を大きく上回る。

#### <目指す姿> たくましく、心身の健康を図る生徒(生徒像2)

- 体育が「楽しい」「進んで参加している」  
目的をもって授業に臨み、ICT活用や教え合い、振り返りを通して「できるようになった」と感じている生徒が多く、そのような授業の工夫により「楽しい」授業になっていると考えています。
  - 運動が「好き」「大切」、「卒業後も運動したい」、「朝食を毎日食べている」  
保健体育や食育指導を通して、健康についての意識が高まっていると考えています。
- ※ 体力・運動能力も向上しており、今後も、さらに工夫しながら取組を継続していきます。

# 4. 豊かな心を育む取組 思いやる人

## (1) 協働的な学びの充実



### ① 心のつながりを生む取組

・**体育祭「仲間とつくる感動」** <6/1>  
「頑張ることは格好いい」を体現し、仲間を励ます、お互いの健闘を讃え合う活動を目指します。

・**文化祭「心一つに歌声響く」** <10/5>  
「心一つに揃えることは素敵なこと」を体現し、お互いに表現力や情操を高め合う活動を目指します。

### ② 思いを伝え合う取組

・**意見発表「私の思い、言葉にのせて」**  
夏休みに全校生徒で取り組み、学級発表、代表による学年発表、文化祭発表を行います。疑問や葛藤に対して「自分や周囲はどうしたらよいか」を考え、自分たちのあり方や生き方を中学生の視点で発表し、思いを言葉で伝え合います。 <8月~9月>

### ③ 地域のためにできることを考える取組

・**ボランティア活動**  
「いつもお世話になっている地域のために何かできないか」という思いのもと、生徒会の呼びかけで、様々なボランティア活動が行われる予定です。

- 「ゴミ拾い登校」
- 「西公園の清掃活動」
- 「落ち葉集め」 <11月>
- 「児童学習サポート」 <7月-12月>  
昨年は、合計でのべ160名以上が参加しました。

・**防災学習「地域を守る要はなろう」**  
地域の一員として、災害時に避難を呼びかけたり、避難所運営を積極的に手伝ったりして、多くの人の支えになれるように、3年間を通して学習しています。

■ **1年「地域探案」** <10月>  
危険箇所や災害時に必要な施設などを探し出すウォークラリー「防災フォトスカベンジャーハント」を実施し、危険を予測し、対応を考える学習を行います。

■ **2年「避難所設営」**  
体育館にテントや段ボールベッド、仕切りなどを設置し、素早く組み立てる方法や使う人が利用しやすい工夫などを話し合います。

■ **3年「避難所運営」**  
避難所運営シミュレーション「HUG」を使って、様々な避難者やイベントにどう対応するか、話し合いながら、全ての人に過ごしやすい環境づくりについて考えます。



### ④ 地域の教育資源を活用した学び

・**修学旅行** <5月実施、6月報告会>  
事前学習と旅行、インタビューを通して、研修先（道南・道央）の歴史・文化・産業・魅力等について調べ、ふるさと帯広との違いや、帯広の良さの再発見、帯広の未来について考えたことをまとめました。入念な準備と節度ある行動で、全員元気に旅行を終えました。仲間と協力しながら探究し、日頃の学びを修める（修学）旅行をみんなが主役となって作り上げていました。後日、報告会を実施し、下級生に学習のまとめを発表します。

・**おびひろ市民学「SDGs」他**  
～持続可能な社会のために～

■ **1年「手話教室」** <9月>  
「地域の大人にできること」をテーマに実施します。様々なコミュニケーションがあり、お互いを尊重する大切さを学習します。

■ **1年「SDGs学習」**  
「持続可能な社会のためにできること」をテーマに、地域や社会の未来に対して責任ある行動とは何かを考える学習を行います。

① IICAで「国際協力」の学習  
② "はぐくむ"での講話や散策による「帯広の森づくり」の学習 <9月>

③ 帯広市青年会議所から講師を招き、多くの企業がフードロスや環境問題などに対して、SDGsの取組を行っていることを学習 <9月>

④ 帯広市都市環境部より講師を招き、SDGs学習のまとめとして「自分たちにできること」を交流 <9月>

■ **2年「認知症州々養成講座」** <6/19>  
「地域の大人にできること」をテーマに実施します。地域包括支援センター職員が講師を務め、人を大切にすることや支え合うために、自分ができることは何かを考える学習を行います。

■ **3年「帯広市の台所事情」** <7/5>  
帯広市財政課職員を講師に招き、「帯広市のまちづくり」と「財政」についての学習を行います。

■ **「キャリアパスポート」**  
「おびひろ市民学」だけでなく、自分が残しておきたい記録（ボランティア、課外学習・体験など）をファイルにして、自分の成長を振り返るものになっています。

### <目指す姿> 心豊かな生徒（生徒像2）

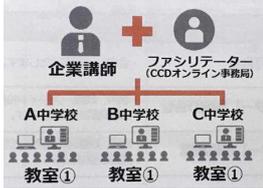
○昨年度、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった」と感じている生徒の割合が高かったです。生徒たちが協働的な学習を通して、多様な他者とよりよいものを作り出す楽しさや感動を共有してきた成果と考え、今年度も継続していきます。

### <目指す姿> 心豊かな生徒（生徒像2）

○昨年度、「ものごとを最後までやりとげて、うれしかった」と感じている生徒の割合が高かったです。探究的な学習を通して、生徒たちは主体的に取り組み、成果を共有し、振り返って改善してきた成果と考え、今後も継続していきます。

## (2) 将来の自分の姿を考えるための取組

将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うために、生徒は多くの人と関わり、多くの経験を重ねながら、自分の生き方を考えています。日々の授業や学級・生徒会活動に加え、部活動、ボランティア活動、防災



学習、進路学習、スポーツ大会、教育相談などを通して、生徒は将来の生き方の刺激を受けています。取組の一部を紹介します。

### ① 進路学習

#### ■ 1年「職業人に聞く」

・「未来創造授業」〈10/22〉  
帯広青年会議所より様々な職種の方を講師に招き、働く意義や必要な資質能力、好きなことをどう将来に活かすかなどのお話をいただきます。

・「ICTインタビュー」〈12/4〉  
企業講師と3つの中学校をオンラインで結び、インタビュー活動を通して、職業観や生き方を考える学習をします。

#### ■ 2年「起業という進路」

釧路高専の協力により、2年生を対象に行います。起業について、サラリーマンとの違いを交えながら、仕事の特色や必要な能力などについて、具体的に学習します。

#### ■ 2年「職場体験」〈9月〉

近隣の事業所に協力をいただき、2日間の職場体験を通して、働く意義や職業観について学びを深めます。昨年は、どの事業所も温かく受け入れてくれ、生徒は感謝も含め、体感したことを後日の報告会で発表しました。

■ 3年「上級学校説明会」〈7月〉  
高校・高専が来校し、説明会を行います。各校の特色や進路、学校生活など、動画やスライド等で説明を受け、質問等により自らの進路選択に必要な情報を集めます。

■ 3年「上級学校授業体験」〈11月〉  
近隣の高校(3校)より講師を招き数学と英語の授業を行います。高校の授業の雰囲気を感じながら中学校の学習がどのように高校につながっているか学びます。

### ② インターンシップ・教育実習の受入

将来、教職員を目指す高校生(7月・12月)、大学生(7月・9月)が来校します。大学生は授業をはじめ教員の業務全般を体験し、高校生は授業見学や学習支援、最終日には中学生へのプレゼンを行います。自分の経験談を交え、中学生の勉強法や生活の心得、進路の見通しなど、対象学年に応じた内容で自作カードなどを使いながらお話してもらいます。例年、中学生は「年の近い先生」から進路や将来像について多くの刺激を受けています。

## (3) 道徳授業の充実



### ① 「考え、議論する道徳」〈年間〉

アンケートや面談等による生徒の実態を調査した後、「考え、議論する道徳」の授業を全教員で担当を決めて実践しています。

### ② 「思春期の生と性」を考える

思春期の悩みやお互いの理解、命の尊さや人権について考えを深めるため、「生と性」をテーマに特設授業を行います。

#### ■ 「多様な性の学習」

#### ■ 「いのちの学習」〈9月〉

「思春期の心と体」「生命・人権の尊重」「いやな思いをなくすために」「SOSを出す勇気」「悩んでいる人へのサポート」などについて考えを深めます。

## (4) 集団と自分の関わりを考えるための取組

<現状> R6.5月

- 周りは自分を認めてくれる 全校：83%
- 学校に行くのが楽しい 全校：82%
- 友人関係に満足している 全校：88%
- 普段の生活で、幸せな気持ちになることがある 全校：90%



BINGO		
自分の得意な科目を伸ばし、学びたい分野を学ぶ	目標を1人1人に設定し、互いに励ましあう	誰かの得意なことを学ぶ
「取りかかろう」という気持ちで、積極的に参加しよう	誰かに褒められる、いいことを褒められる	みんなが頑張っている姿を褒められる
ほっとしている姿で参加できる	誰かの話を聞き、自分の経験談を話す	誰かの人に1人話をする



### ① 各種アンケートの結果の活用

全国学力・学習状況調査(4月)、いじめ等調査(5月・10月・2月)、生活学習実態調査(7月・12月)や教育相談等を活用し、生徒の実態把握に努めるとともに、今後について考えを深める機会を設定していきます。

### ② hyper Q-U調査〈5月、9月〉

学級全体と生徒個人の適応感を調べ、SOSのサインや、集団の中の関係性について確認・研修し、指導・支援の参考にします。

### ③ 教育相談〈6月、11月、随時〉

学習や生活、人間関係、部活、進路など、生徒が相談したいことを記載した教育相談シートをもとに実施します。人との関わり方や将来の姿など、いまの自分と向き合い、「これからすべきことは何か」、「将来どんな生き方をしたいか」考えを深める機会として実施します。

### ④ 全校集会・学年集会〈随時〉

各種大会で表彰を受けた団体・個人による表彰伝達式(全校集会)を行い、「挑戦や努力を讃え合う場、感謝を伝える場」として実施していきます。また、学年協議会を中心に学年集会を行い、「より良い学校生活にするために」をテーマに、呼びかけなども行っています。

### ⑤ 生徒会「いじめ防止」〈年間〉

「笑顔で楽しく過ごせる学校」づくりをテーマに、生徒会が中心となって、各種イベントや活動を企画し、交流を進めます。

## <目指す姿> 心豊かな生徒(生徒像2)

- 昨年度、「人の役に立つ人間になりたい」と考えている生徒の割合が高かったです進路を考える学習や、他者との関わりを通して、自分の将来の生き方について考えを深めてきた成果と考え、今年度も継続していきます。

# 5. エリア連携の取組

～主に緑園中・開西小・森の里小の取組～

## ～緑園中エリアの取組～

コロナ禍を経て、昨年度は緑園中エリアファミリー（緑園中学校・開西小学校・森の里小学校・帯広幼稚園・帯西幼稚園・つばさ保育所・みのり保育園・開西児童センター・森の里児童センター）、校区にある南商業高校をはじめとする近隣高校や、地域ボランティアの皆さんとの連携により、様々な取組を行うことができました。これからも、子どもたちが、地域のつながりの中で学ぶ機会を大切にしたいと思っております。

また、義務教育9年間は自立のための大切な学びの時間です。緑園中学校区の小中学校の職員で学習・生活等の視点で話し合い、小・中のなめらかな接続や、9年間を見据えた教育について取組を進めていきます。その取組の一部を紹介します。

### (1) 合同授業による交流

#### ① 合同体育（体カテスト）

1学期に小中合同での体カテストを予定しています。

昨年度は、開西小児童が来校、森の里小には中学生が訪問して実施しましたが、どちらも、中学生が動き方やコツをマンツーマンで教え、「すごいよ」「上手だよ」と声をかけると、小学生はそれに  
  
応えるように、熱心に取り組んでいました。最後にコメント交換をすると、中学生からは「上手になったね」、小学生からは「優しく教えてくれてありがとう」などの言葉が書かれており、授業後は、別れを惜しんで泣いてしまう児童もいました。

子どもたちの感想や振り返りをみると、中学生にとっては、一生懸命教えることで小学生の役に立ったと感じ、**自己有用感を高めている**ようでした。また、小学生は教えてくれたことに感謝し、自分もあんな中学生になりたいと、**あこがれの気持ちを持って**くれたようです。小  


・中学生がつながり、ともに高め合う良い機会となりました。  
今年度は、それぞれの児童が来校し、6月に実施する計画です。

### (2) 学習会・体験学習による交流

#### ① 夏休み体験学習

小中高連携を進めるため、7月24～26日の3日間、地域の方や高校生、大学生にもご協力いただき、「学習会」と「お楽しみ会」を実施する予定です。

##### ■ 「小学生学習会」 <7/24～26>

開西小と森の里小の児童が来校し、同じ教室で学習会を行います。緑園生ボランティアがサポートします。

##### ■ 「中学生学習会」 <7/24～26>

緑園生が、南商生・畜大生・地域ボランティアに学習をサポートしてもらいながら、宿題や1学期の復習などを行います。

##### ■ 「親子お花教室」 <7/25>

地域ボランティアが講師を務め、緑園中エリア（本校・森の里小・開西小）の親子・教職員・



ボランティアが参加し、思い思いに「夏の花」をアレンジします。



##### ■ 「親子理科実験教室」 <7/26>

緑園中エリアの親子・教職員・ボランティアが参加し、ふるさと十勝の歴史や食文化、生物の体のつくりと働きについて学習します。



- <昨年度>・第1部 十勝の畜産業（歴史・加工）  
・第2部 目のつくり（解剖実験）  
・第3部 目ははたらき（見え方実験）



#### <授業後の感想>

- ・家畜が食料に加工される過程を見て、自分がお肉などを食べる際は感謝して食べようと思いました。
- ・解剖は少し不安でしたが、貴重な体験ができて楽しかった。生物の体は本当に不思議だと感じました。
- ・見えている像は脳が補正していることがわかったので、ケガや疲れなどで正常に見えないときや、判断できなくなるときに、気をつけようと思いました。

#### ② 冬休み体験学習

小中高連携を進めるため、12月25～27日の3日間、地域の方や高校生、大学生にもご協力いただき、「学習会」と「お楽しみ会」を実施します。

##### ■ 「小学生学習会」 <12/25～27>

開西小と森の里小の児童が来校し、学習会を行います。昨年度は、児童のべ41名が参加し、緑園生ボランティアのべ43名が学習サポートや会場案内等を務めました。



<写真：小学生に教える緑園生>

##### ■ 「中学生学習会」 <12/25～27>

緑園生が、南商生・畜大生・地域ボランティアに学習サポートしてもらいながら、冬休みの宿題や2学期の復習を行います。（昨年度は緑園生のべ34名、サポーターのべ9名）<写真：高校生に教わる緑園生>



■「親子お楽しみ体験」〈12/25〉

学習会後のお楽しみ企画として、計画中です。昨年度は、「もちつき体験」を実施しました。緑園中エリアの親子90名が参加し、南商生・畜大生・地域ボランティア（合わせて50名以上）のサポートのもと、交代しながら餅をつきました。



できあがった餅は、きなこやあんこをつけて試食、子どもたちは「おいしい」と喜びをこぼしていました。そして、「楽しかった」と喜んで帰る子どもたちに目を細める大人たちの姿が印象的でした。

■「親子お花教室」〈12/26〉

地域ボランティアが講師を務め、緑園中エリアの親子で実施します。松や菊、カーネーション、水引などを組み合わせ、思い思いに「正月のお花」をアレンジします。



■「親子理科実験教室」〈12/27〉

本校理科教員が講師を務め、南商生・畜大生・地域ボランティアのサポートで実施します。

昨年度は、動画や解剖実験を通して、以下の内容を学習しました。（中学生は12月に実施した「いのちの学習」（性教育）のオプションとしての内容が含まれています）

- ①細胞（つくり、はたらき）
- ②遺伝（メンデルの法則、DNA、クローン、iPS細胞、育種、遺伝子組み換え、ゲノム編集）
- ③畜産業（血統の管理、人工授精による繁殖）※動画
- ④生殖（性周期のしくみ、生殖器のつくり）※解剖実験

※動画… 過去(25年前)に、緑園中生が農場（現校長の実家）を取材して作成したものです。美味しい牛乳を生産するため、ウシは人工授精により計画的に繁殖、飼育されていることを説明しています。遺伝の仕組みを活用して、生産性を高めている農業について取材した内容です。



※解剖実験… ウシの生殖器を用いました。卵巣内の卵胞や黄体を確認しながら、性周期について学習し、受精が行われる卵管、着床して胎児を育む子宮体内部、子宮頸、膣内部など、切開しながらその構造を確認しました。その後、児童生徒は、膀胱に「どれくらい水をためられるか」水道水を入れて実験しました。小玉スイカくらいに膨らんだ膀胱をおそるおそる触り、その弾力を確認していました。

(3) 入学説明会・交流会

■「新入生説明会」〈2月〉

本校を会場に、森の里小・開西小6年生と保護者を対象に実施します。緑園中3年生が中心となってイベントを運営し、午前は両小学生の交流会（アクティビティ）、中学生の授業見学、校舎巡り、学校説明を行い、午後からは保護者向けの説明を行います。



■「キャリアアップ学習会」

本校を会場に、森の里小・開西小5年生を対象に実施します。この日は、両小学生の交流会（アクティビティ）、中学生の生活や学習についての紹介を行います。



(4) いじめ非行防止にかかわる児童生徒の交流

■「いじめ非行防止サミット」〈6月 市教委主催〉

本校・森の里小・開西小の3校をオンラインでつなぎ、「一人一人が笑顔で楽しく過ごせる学校」をテーマに話し合います。



本校の生徒会役員と各児童会役員でエリアでの取組を決め、全校で実施します。昨年度は、「交流と安心を生み出す取組」を各校で進めていくことになり、「ピンクアイテムデー」や「ミッションビンゴ」などを実施して、みんなで楽しい学校をつくる意識を高めていました。

(5) 教職員の連携会議・研修会

小中連携会議をはじめ、特別支援担当による打合せや説明会・見学会の実施、エリア公開研究会や各校の行事、授業参観への参加、生活や学習の情報共有と対応等、随時行っていきます。



また、緑園中エリアファミリーを活用し、危険マップの作成、エリアの目指す子ども像の共有・連携を進めていきます。



＜目指すエリア＞ 目指す子ども像に向け、共通理解、協働するエリア

- 昨年度は、感染症対策が緩和され、多くの交流を行うことができました。中学生の姿からは自己有用感の高まりが見られ、小学生の感想からは中学生へのあこがれや、入学を楽しみにしている声が聞かれました。
- また、多くのボランティアの協力のおかげで、各種イベントを充実させることができました。とてもありがたいことです。
- ※ 今年度も工夫しながら、取組を進めていきます。